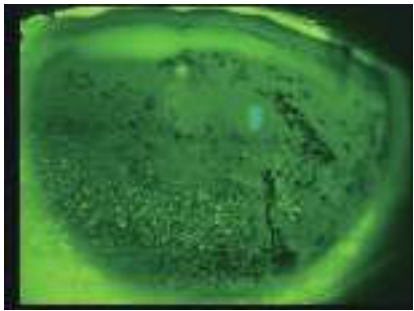
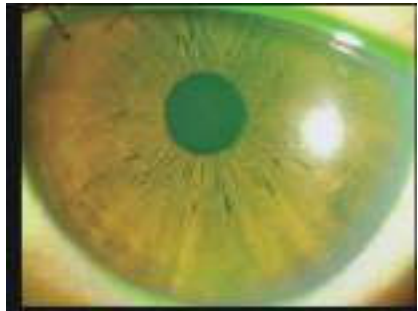




● 温熱アイマスク

冬になり寒くなって来ると、肌のカサカサが気になりませんか？
冬は、空気が乾燥している上に暖房を使っているのです、お部屋の空気はさらに乾燥し涙の蒸発が増えてしまいます。
そのため、冬はドライアイになりやすいのです。



通常の撮影では解りませんが、フルオレセインで染色すると
目の表面に細かな傷がいっぱい入っているのが解るようになります。

このような状況に加えて「マイボーム腺機能不全」という病気を合併することがあります。
涙は、油の層と水・ムチンのまじりあった液体の層に分かれます。主に涙液の蒸発をおさえるための油を分泌しているのがマイボーム腺です。正常なマイボーム腺は透明でさらさらの油ですが、マイボーム腺の機能が低下すると油が変性し、濁って最後には黄色く固まった油が出口につまってしまいます。マイボーム腺がつまってしまうと、目の不快感や乾燥などの自覚症状を感じるようになります。「マイボーム腺機能不全」による油不足が原因のドライアイ患者はなんと8割！！温熱アイマスクで瞼を温めると、固まったマイボーム腺のつまった油を溶かし、瞼の血流を改善することができます。1回5分、1日2回（朝晩）で効果が得られます。



マイボーム腺の機能が低下して、
黄色く固まった油が出口につまっています。



● この商品の特徴

- ①電子レンジで温めて繰り返し利用できます。
- ②温熱効果に優れたトルマリンを配合。
- ③遠赤外線効果抜群のセラミックボールを採用。

当院では、750円（税込価格）で販売中です。



親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 （年4回季刊発行）

瞳きらきら通信

Tel 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1



院長ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。昨年、おかげさまで還暦を迎えました。
人生の節目の年に「何かをしたい」という衝動に駆られ、医院交流会というイベントを開催。“チーム梶川”らしい取り組みを多くのゲストの方々に知ってもらい、ワクワク交流を深め、互いの医院・医療の質を高めることを意識して臨みました。メンバーやゲストの方々のご支援により大成幸です。
みんなに感謝、感謝。



院長 梶川大介

師走に入り、ビルボード大阪であの世界のナベサダ、渡辺貞夫さんのライブを観る機会に恵まれました。渡辺さんは、ジャズ&フュージョン界でサックスプレイヤーの大御所で、なんとおん年86歳！！颯爽とサックスを吹く姿からは、全く想像もつかない。本当に格好いい。
しぶい。MCの時の笑顔がこれまた素敵すぎる。音楽活動を始めてから70年を迎えようとされています。現在も精力的に演奏活動を行い、生涯現役プレイヤーの楽しそうに演奏する姿を見るにつけ、還暦を迎えたばかりのオッサンは、勇気と感動を頂いたのである。アンコール曲が終わっても鳴り止まぬ拍手、スタンディングオベーション。生涯現役。。。やっぱり世界のナベサダは、凄い！！
眼科医になってから36年。まだまだ？！

今年も如何にワクワク楽しく、誰かのお役に立てるようどのように行動するかお悩み中です。
最後になりましたが、2020年が皆様にとって笑顔で幸せに満ちた年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

コラム数珠つなぎ



今回は、診療助手・中村がお届けします！

我が家では朔太郎という名前の猫を飼っています。
朔太郎は二年前に家のベランダによく来ていた野良猫が置いていった子猫で、母猫がいなくなってしまったところを保護してうちで飼うことになりました。
最初は体重が1kgもなく、片手に乗るぐらい小さかったのですがどんどん大きくなって行ってこの間動物病院で測ってもらったときには5.3kgになっていました。

朔太郎はとても甘えん坊で朝起きたときや私が家に帰ってきたときは体をすりつけてきます。去年の今頃に朔太郎のためにこたつを買い、今年も11月からこたつを出しているのですが、朔太郎は毎日こたつの中で寝ています。その姿を見ていると癒されるのでずっと冬だったらいいのになと思ってしまいます。



第7回

ふれあいフェア

看護師：吉田

2019年
10月17日(木) 開催のご報告

ふれあいフェアで私たち看護師は、目に対する知識を楽しくお伝えしようと眼科のクイズを計画しました。クイズは眼科というジャンルですが、それぞれ4人が2問ずつ担当し考えバラエティに富んだ内容になりました。

その問題は ①世界の失明原因一位は？ ②点眼後してはいけないことは？ ③目薬は何滴いれる？ ④封を開けた目薬はどれくらい使える？ ⑤睫毛は何本生えてる？ ⑥老眼を自覚する平均年齢は？ ⑦目薬の間は何分あける？ ⑧当院の水槽のニモは何匹？

クイズの正解は、①白内障、②目をパチパチさせる、③1から2滴、④1ヶ月以内、⑤150から230本 ⑥45歳、⑦5分、⑧1匹となります。何問正解されましたでしょうか？

不慣れな司会でしたが、ふれあいフェアに参加された皆さんは真剣に聞いて答えてくださり、1番多く正解された2名の方に素敵な商品が渡されました。笑顔が絶えずとても盛り上がり楽しいコーナーになりました。その場でもお伝えしましたが、少しでも疑問に思ったことや先生に伝えそびれたことがありましたらお声掛けくださいね。お待ちしております。



令和最初のかぼちゃの重さ当てクイズ！

受付：西山



ハロウィンの「トリック・オア・トリート」って？
ハロウィンの日には仮装した子どもたちが近所のお宅を訪問して「Trick or Treat(トリック・オア・トリート)」と唱えてお菓子をおねだりします。「Trick or Treat」とは「お菓子をくれないと、いたずらしちゃうぞ」という意味です。子どもたちにとって、お菓子がたくさんもらえる大興奮の一大イベント!!大人は子ども(おばけや妖怪)を歓迎して、「Happy Halloween!! (ハッピーハロウィン)」と答えてお菓子をあげましょう。その他にも、アメリカの小学校ではみんなでお菓子交換をするイベントもあったりで、たくさんのお配り用スイーツは必需品だそう。近年日本でも家族で参加できる地域のイベントがたくさん開催されるようになりました。今年もかぼちゃの重さ当てクイズ!楽しみにしていて下さいね♡

視能訓練士：能登原

梶川マリンワールド完成！！



木枯らし1号が吹き荒れる11月のある日のことです。
キラキラ通信編集長のS子さんから「待合室改装の原稿を書いて！」とお願いされました。編集長のSさんの笑顔はとても素敵で、笑顔のパワーに押されて原稿を書くことになりました。
病院での待ち時間は永遠のテーマです。待ち時間は短いに越したことはないです。が、なかなか難しい問題です。そこで快適に過ごせる待合室があれば…長い間座っても疲れにくい椅子があれば…と院長は日夜悩んでいました(たぶん)。



当院の院長はいつも突然です。「待合室を改装しよう！」その一言で昭和感の残るレトロな待合室を改装することになりました。ダイビングが趣味の院長と当院のシンボルでもある水槽を生かしテーマは「海」に決まりました。海と言ってもどこのどんな海でしょうか？スタッフはそれぞれ「地中海」「エーゲ海」「ハワイ」「須磨」とイメージする海をデザイナーさんに伝えました。何度かの手直しを繰り返し、令和元年8月ジャンーン！さわやかで洗練された待合室、オリジナルの海「梶川マリンワールド」が完成しました。

待合室全体が海になり、水槽のお魚達も大きな海を泳いでいる気分で大満足の様子です(?)。じっくりと水槽を見て下さい…いつもは隠れているのにエサをあげると出てくる食いしん坊のお魚くんや「私きれいでしょ！」と自慢気に泳いでいるお魚ちゃんに出会えると思います。壁にはフンワリと浮かぶクラゲ達。いやされます。1クラゲ2クラゲ…さてクラゲは何クラゲいるでしょうか？正解はスタッフに聞いてみてください。梶川マリンワールドは、これからもより快適で心地よい待合室を目指していきます。

